



# Mushroom

スチーム式アロマ加湿器 「マッシュルーム」

INSTRUCTION MANUAL

## 取扱説明書

品番 AHD-020

- この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- お読みになった後も、すぐ見られる場所に大切に保管して下さい。
- 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので「お買上げ日・販売店名」等の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。

本製品は玩具ではありません。  
お子様などの取扱には保護者の方が充分注意して下さい。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.

**保証書付**

保証書は本書の裏表紙にあります。

# 安全上のご注意

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

## ⚠ 危険

死亡または重傷を負うことがありその切迫の度合いが高い危害の程度を示しています。

## ⚠ 警告

死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

## ⚠ 注意

損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害の程度を示しています。

図記号の例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いて下さい)が描かれています。

## ⚠ 危険

- スチーム吹出口や電熱部隙間などのピンや針金等の異物を入れない。

感電やショートする恐れがあります。

- スプレー缶や電気ストーブ、火気厳禁扱い物を本体の近くに絶対置かないで下さい。

爆発や火災になる恐れがあります。



## ⚠ 警告

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり改造したりしないで下さい。

発火したり、異常動作で、ケガや火傷をする恐れがあります。

- 濡れた手でコードの抜き差しをしないで下さい。

感電やケガの恐れがあります。

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

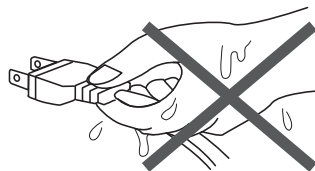
感電やケガの恐れがあります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり加工したり無理に曲げたり、ひっぱったり、たばねたりしないで下さい。

重いものをコードの上に乗せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないで下さい。

電源プラグとコンセントの間にホコリや金属、水分を付着させないでください。感電ショートの原因になります。



## 警告

- 浴室や高温多湿の水のかかる恐れがある場所で使用しない。  
また濡れた手で電源プラグに触れない。  
感電やショートする恐れがあります。
- 幼児に電源プラグをなめさせない。本体に触らせないで下さい。  
乳幼児が誤ってなめないように注意して下さい。転倒させると、熱湯が出てヤケドをしたりする恐れがあります。
- スチーム吹出口に直接触ったり、顔を近づけないで下さい。  
ヤケドの原因になります。
- お手入れには、絶対に塩素系・アルカリ性の洗剤を使用して行わないで下さい。  
洗剤が残り、有毒ガスが発生する原因になります。

## 注意

- フローリングの上、木製家具の上や、壁、カーテン、天井など蒸気のある場所に置かないで下さい。  
(木製テーブル・合板・タタミなど) 熱に弱い物の近くで使用すると、変色・変形の恐れがあります。
- 水タンクや水槽に水道水以外は入れないで下さい。  
※水道水(飲料用)は、抗菌処理がされているので、カビや雑菌が繁殖しにくい。  

入れてはいけない水
-----------

  - ・浄水器の水・アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水・汚れた水
  - ・40℃以上の温水、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水
- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くなど高温になるところには置かないでください。  
(石油・ガス・電気ストーブの近くや、電気カーペットの上など)  
水漏れすることがあります。(これはタンク内の水が暖められて起こる現象です)
- 熱に弱いものの上では使用しない。  
長時間同じ場所で使用すると、材質・塗料によっては変形する場合があります。  
木製家具(フローリング床材含む)などの熱に弱いものの上では使用しないでください。
- 使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜く。電源プラグを抜くときは必ず、先端のプラグを持ち、コードを痛めないように抜いて下さい。  
爆発や火災になる恐れがあります。
- アロマオイルを直接、水槽や水タンクに入れしないで下さい。  
オイルの成分がプラスチックを溶解して、水漏れなどの故障の原因になります。

## ⚠ 注意

- お子様のオモチャ（玩具）として使わせない。また遊ばないように監督して下さい。  
転倒させると熱湯がこぼれ出て感電やヤケドの恐れがあります。
- テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から1m以上離して下さい。  
テレビ画面のチラつきや、雑音が入る等の電波障害が起こる場合があります。
- タンクを持ち運ぶ際は、必ずよく冷めてから吸水口を上に向けて両手で運んで下さい。  
熱いうちにタンクをはずすと熱湯でヤケドの原因になります。
- 本体を浸したり、丸洗いしない。  
底部の電気部に水が入ると、ショートや故障の原因になります。
- 蒸発皿（クリーニングフィルター）のお手入れは必ず行って下さい。  
堆積物が多量に付着すると故障の原因になります。
- 通気筒、クリーニングフィルター、水路カバーをはずした状態で使用しないで下さい。  
堆積物が多量に付着して故障の原因になります。
- 長時間、加湿しすぎないように注意して下さい  
結露などで室内が多湿になり、故障の原因になります。
- 衣類やカーテンなどの可燃物の側で使用しない。壁や窓から必ず50cm以上離して使用する。  
火災になる恐れがあります。
- 使用中、使用直後は持ち運ばないで下さい。
- 使用中、使用直後はお手入れを行わないで下さい。

- 以下のような条件下において、水漏れが起こる可能性があります。
  - ・ 水タンクの水量が半分以下/水温約0度～6度
  - ・ 予備水受けスペースに水が溜まったまま再運転する
  - ・ 暖房器具を近くで使用する

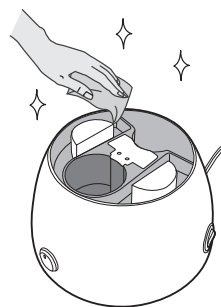
タンクの水は毎日新しい水道水と入替え、週1・2回はタンク内も清潔にお手入れを行ってください。

お手入れを行わずに使用し続けると、汚れや水垢で加湿量が低下したり、カビや雑菌が繁殖して悪臭がすることがあります。  
また、まれにアレルギー体質の方などが過剰に反応して健康を害する場合がありますので、お手入れを欠かさないようにしてください。

いつも清潔に



指示



# ご使用になる前に

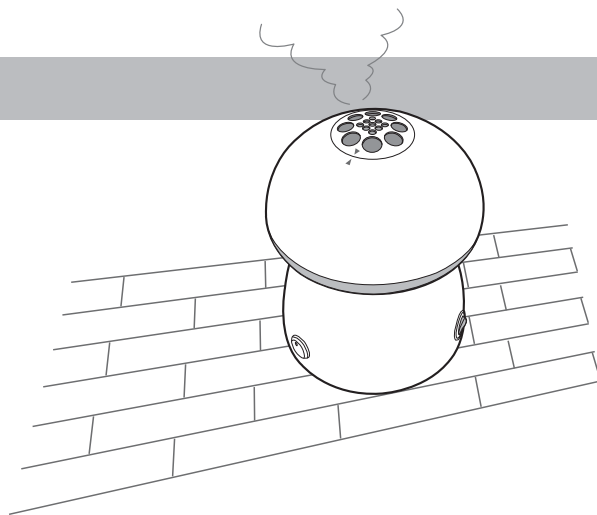
## 設置場所のご注意

下記の場所に置いて使用しないで下さい。

### 注 ▲ 意

- ・フローリング床面 ・木製家具の上
- ・合板テーブル ・タタミ
- ・熱に弱いものの上など

長時間同じ場所で使用すると、材質・塗料によっては変形・変色（シミ等）する場合があります。



- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近く（1m以内）など高温になるところには置かないでください。（石油・ガス・電気ストーブの近くや、電気カーペットの上など）

水漏れすることがあります。（これはタンク内の水が温められて起こる現象です）

## 使用上のご注意

- 運転中に何度も水タンクを脱着しないで下さい。

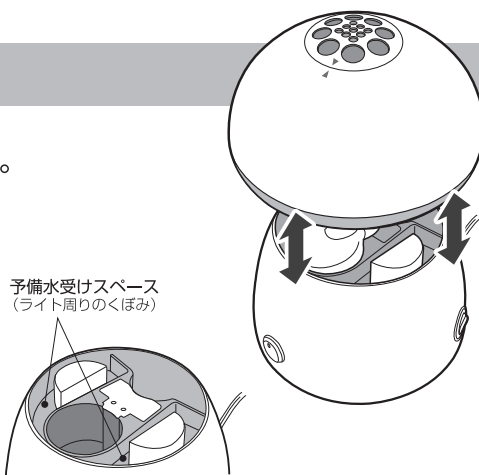
必要以上の水が、水槽や蒸発皿に落ちて水漏れや誤動作の原因になる事があります。

本体の「予備水受けスペース」に水が溜まっている場合は必ず、流し台などに溜まった水を排水して下さい。

### 注 ▲ 意

必ず空にしておく

予備水受けスペースに水が溜まったまま運転すると水漏れが起こる原因になります。



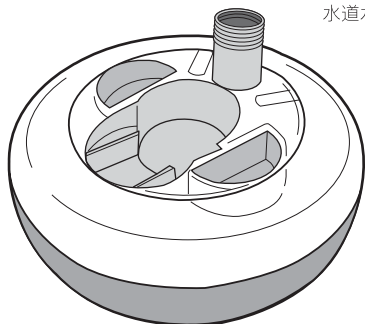
# 各部の名称とはたらき

ご使用前に部品が、すべてそろっているか必ず確認をして下さい。



水タンクふた

給水時は回して取りはずし水道水を入れます。

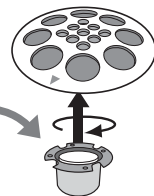


カバー

▲印を合わせてセットして下さい



アロマパッド



アロマポット

スチーム吹出口

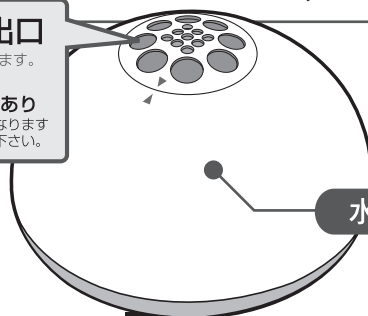
■高温スチームが発生します。



接触禁止

ヤケドの恐れあり

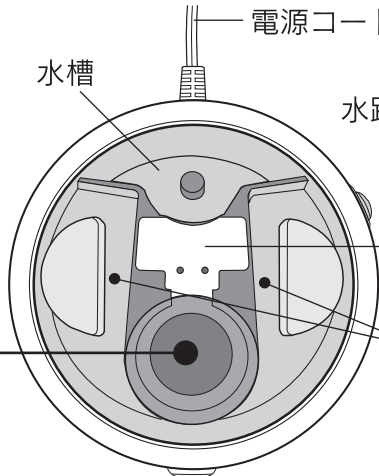
■運転時は高温になりますので触らないで下さい。



水タンク

水槽

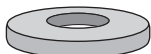
水路カバー



蒸発皿 (フッ素加工)

加熱により、水を蒸発させてスチームにします。

クリーニング  
フィルター(2枚)



蒸発皿に取り付ける (1枚は予備品)

予備水受け  
スペース

水槽から溢れた水を受けるスペース

通気筒

蒸発皿からのスチームが通るための筒です。

(お手入れ時以外は常時装着する)  
※目印の線までしっかり差し込んでください

イルミネーション  
ライト

運転ランプ

電源スイッチ  
(電源ランプ)

リセットボタン

※電源ボタンではありません。  
※空だき防止装置が働いた後に再運転させるボタンです。

本体

# ご使用方法

## 知っておいていただきたいこと

水が残り少ない状態から運転すると、タンク内の空気圧が変化（熱による空気の膨張）した際に湯が吹きこぼれる場合があります。一度電源を切った後、再度運転する際は、特に水量に注意して下さい。0～6℃の冷水や40℃以上の温かいお湯は絶対にタンク内に入れないで下さい。

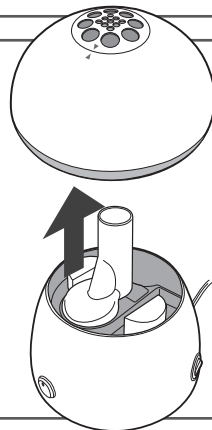
### 1. 水タンクを本体からはずします。

両手で水タンク底を持ち上げます。

#### 注▲意

※2度目以降アロマオイルを使用して、オイルが残っている場合は、カバーを先に取りはずして下さい。

カバー



### 2. 水タンクふたをはずして 常温の水道水を入れます。

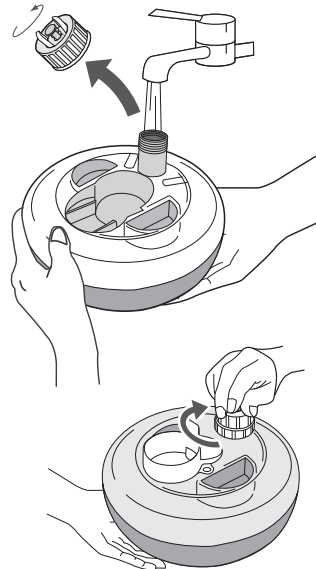
#### 注▲意

- 水タンクは、必ず両手で支えながら持つ。
  - お湯を入れないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 水タンク持ち、しっかりとふたをしめます。
- 水が漏れないことを確認してください。

★下記のものをタンク内に入れないでください。

アルカリイオン水、ミネラルウォーター  
浄水器の水・井戸水・汚れた水  
抗菌処理していないもの。40℃以上の湯、熱湯。  
化学薬品・芳香剤・アロマオイルなど

回してはまず



# ご使用方法

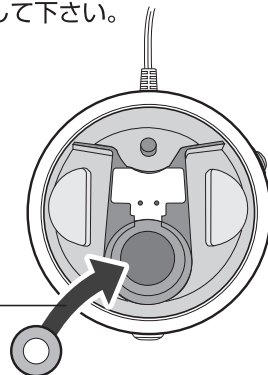
## 3. タンクを本体にセットして、電源プラグを差し込みます。

- ① クリーニングフィルターを蒸発皿にセットします。
- ② 蒸気皿部に通気筒を奥まで差し込んでセットします。
- ③ 水路カバーが取り付けられているか確認して下さい。

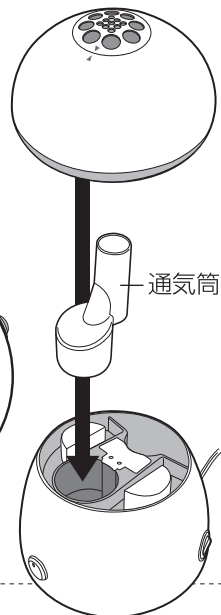
水タンクと本体の前後を確認して、上から確実にセットします。  
(傾いてないか確認して下さい)

**注▲意** 水槽にタンクふたが入るように向きに注意

注意 ※クリーニングフィルターセット位置  
(水槽凸部に入れないよう注意して下さい)



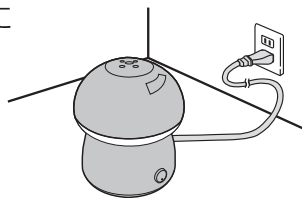
クリーニングフィルター



電源プラグを持ち、コンセントにしっかり根元まで差し込みます。

**注▲意** タコ足配線をしない

他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります



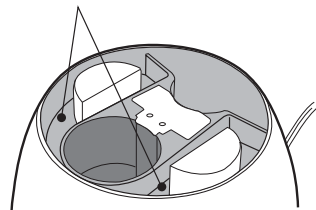
## ★2回目以降、運転する際は・・・

給水する際、本体の「予備水受けスペース」に水が溜まっている場合があります。  
必ず、流し台などに溜まった水を排水して下さい。

予備水受けスペース  
(ライト周りのくぼみ)

**注▲意** 必ず空にしておく

予備水受けスペースに水が溜まったまま運転すると水漏れが起こる原因になります。





# ご使用方法

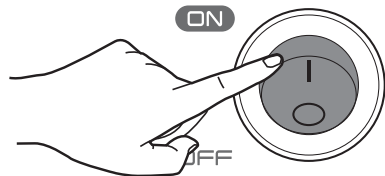
## 4.

### 電源スイッチをONにして 運転をはじめる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。  
(イルミネーションライトが常時点灯します)

※運転ランプ/イルミネーションランプが点灯しない場合は、  
リセットボタンを押して下さい。

※**すぐに蒸気はでません。** 蒸気が出始めるまでの所要時間は水温により異なります。  
(目安：水温20度位で約3~4分)



### 注⚠意

スチーム吹出口に触れない!

運転中・直後はスチーム吹出口に触れないでください。高温になるためヤケドの恐れがあります。

- 使用中「ポコッポコッ」と音がしますが、これは水が蒸気化（沸騰）している音ですので、異常ではありません。
- はじめて使用する際は、樹脂のにおいなどがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

★**水タンクに水が入った状態での脱着は控えて下さい。**

本体・水槽・蒸発皿の水位が高くなり、吹きこぼれる可能性があります。

## アロマオイルを使用する



### カバーを取り外し、アロマパッドにお好みの アロマオイル1・2滴を染み込ませます。

お好みのアロマオイル(エッセンス)の香りをお楽しみいただけます。  
※入れ過ぎに注意して下さい。1・2滴で充分香りが楽しめます

- カバーの裏にアロマポットを回して  
セット(取付け)して下さい。

### 注⚠意

アロマエッセンスの注意書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

※水タンクに直接、オイルを入れないで下さい。本体が変形して水漏れる恐れがあります。

- タンクに給水する際は、オイルを落とさないよう注意して下さい。
- 本体やカバーにアロマオイル(エッセンス)が付着した時は、すぐに洗い流すか、きれいにふき取って下さい。
- 必ず、水タンクをセットした後、最後にアロマオイルを入れて下さい。  
(アロマパッド以外の部分に付着しないよう、アロマポットを取り外して、オイルを入れて下さい)



# ご使用方法

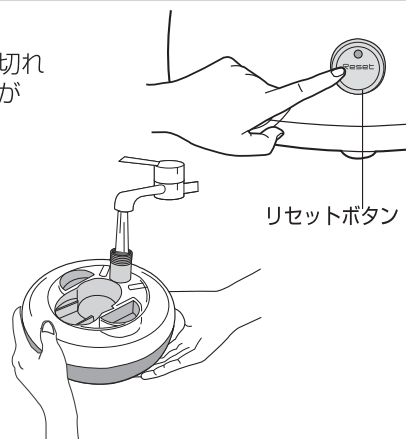
## タンクの水がなくなったら・・・

### ■空になって、自動で止まった（空だき防止機能）

- 1** 電源を入れたまま水タンクの水がなくなると、自動で電源が切れイルミネーションライトと「リセットボタンの運転ランプ」が消灯します。（自動OFF/空だき防止機能）

十分にスチーム吹出口やタンクが冷えるのを待ち、水をタンクに給水した後、リセットボタンを押して再運転をしてください。

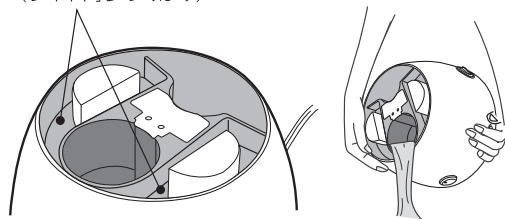
注※十分に冷えてない場合はリセットボタンを押しても運転しません。



- 2** 給水する際、本体の「予備水受けスペース」に水が溜まっている場合があります。必ず、流し台などに溜まった水を排水して下さい。

予備水受けスペース  
(ライト周りのくぼみ)

排水をする



**注▲意** 必ず空にしておく

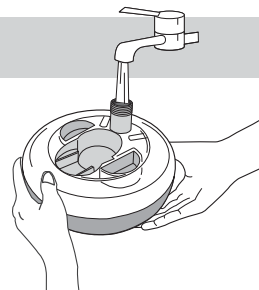
予備水受けスペースに水が溜まったまま運転すると水漏れが起こる原因になります。

### ■水が少なくなってきたので給水する

- 電源スイッチをOFF（切）にして、十分にスチーム吹出口やタンクが冷えるのを待ってから、タンクを取りはずして給水してください。

**注▲意**

※アロマオイルが残っている時は、十分に冷めてからアロマポットを抜き取ってから給水を行って下さい。



# 使用に関するトピック

ご使用の際、気になることがある場合は下記のトピックを参考にしてください。

## 水漏れについて

ご使用環境の条件によって、まれに水漏れが起こる場合があります。

- ・水タンク量が半分以下400～600ccで使用
- ・水温が0～6℃（厳冬時に注意）
- ・予備水受けスペースに水が残ったまま再運転する
- ・暖房器具の近くで使用する

●水タンクを床に落としたり、衝撃を与えたりすると、  
水タンク接合部に小さな亀裂が入り、水漏れを起こす  
可能性があります。



## 運転音について

本製品は加熱スチーム式の加湿器です。

静かな環境では「ポコポコッ」と音が聞こえることがありますが、これは加熱して水を沸騰させている音です。不良品ではありません。

## 蒸気について

蒸気（スチーム）は、周囲温度が低い場合、目に見える事がありますが、一般的な室内約16～26℃の環境の場合、霧のように大量な蒸気が見えることはありません。蒸気が薄くても加湿しています。

## 蒸発皿・水槽の 汚れについて

本製品を使い続けていると、**蒸発皿に汚れや白い粉が溜まったりします。**

これは水に含まれる塩素や銹物成分などが蒸発する際に結晶として現れるものです。もともと水に含まれる成分であるため、人体に**影響はありません。**  
加湿性能の低下、故障の原因になりますので、こまめにお手入れを行ってください。

## 残留水について

加湿に使用する水は、毎日新しい「水道水」と交換してください。

蒸発皿・水槽・予備水受けスペースに残った水は毎日捨ててください。  
変色や悪臭の原因になります。

## アロマオイルについて

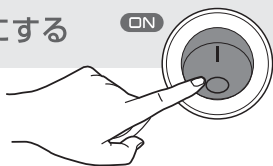
アロマオイルによっては、プラスチックを溶解させる強い作用の成分が含まれるものがあります。お使いになるアロマオイルの注意書・成分表をよくお読みの上、ご注意下さい。本体に付着すると変色・変形、故障の原因になります。

# お手入れ

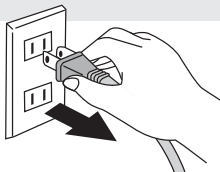
(使用経過による、性能低下・悪臭・汚れを防止する為にこまめにお手入れをして下さい。)

電源を抜いて約1時間ほど経過してから、本体・タンクが完全に冷めた事を確認してお手入れをしてください。

## 1. 運転を切にする



## 2. 電源コードのプラグを抜く。

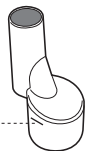


## 3. 本体から水タンクをはずす。

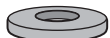
## 4. クリーニングフィルターと通気筒、水路カバーをはずす。

### 通気筒

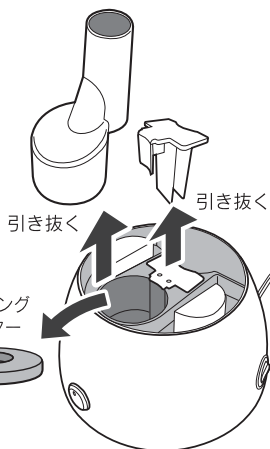
差し込み  
ライン



クリーニング  
フィルター



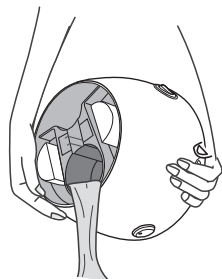
水路カバー



## 5. 排水方向に注意して、水槽に残った水を捨てる。

### 注▲意

電源スイッチ、リセットボタン部に水がかからないように注意。  
本体底に水が入らないように注意。  
故障の原因になります。



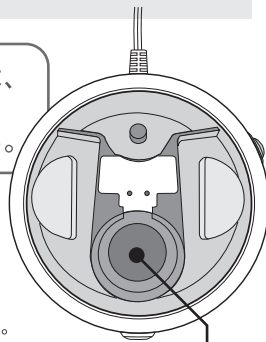
## 6. 蒸発皿のお手入れ

本体内部、特に蒸発皿は、週2回程度、よく絞ったフキンで汚れを拭き取る。

### 注▲意

お手入れを怠ると、水の成分により鉱物の結晶が付着・こびりついて、落ちにくくなります。  
こまめなお手入れを心掛けましょう。

※本体の丸洗いはやめて下さい。  
感電・故障の原因になります。



蒸発皿  
(フッ素加工)

## 7. 各部品のお手入れを行う。

12ページを参照

各部品のお手入れが終わったら、つけ間違いのないよう、元の通りにセットして下さい。

# お手入れ

- 本体の丸洗いはしないで下さい。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。
- 洗剤・クレンザー・漂白剤・金属たわし・化学ぞうきんなどは使用しないで下さい。
- お手入れ後は各部品を、必ず元通り正しい位置に取り付けて下さい。

本体の変質  
変色の恐れ  
あり



シンナー、ベンジン、アルコール、  
アルカリ洗剤、みがき粉は使用しない。

## タンクのお手入れ

(週に1回を目安に行ってください)  
タンクに水を入れ、十分にすすぎ洗いをします。

## 本体・部品のお手入れ

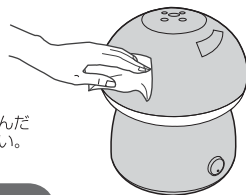
(2週間に1回を目安に行ってください)  
柔らかいフキンなどで、から拭きしてください。



カバー



水タンクふた



ガンコな汚れは・・・

中性洗剤を薄めたぬるま湯、または水を含んだ  
タオルをよく絞って本体を吹き上げて下さい。

## 水路カバーのお手入れ

(週に1回を目安に行ってください)  
柔らかいスポンジなど、水を使って良く洗い、  
乾いた布で吹きあげてください。

## クリーニングフィルターのお手入れ

(週に2回を目安に行ってください)  
水道水でやさしく手もみ洗いをして下さい。

## 長期間ご使用にならないときは

### 1 本体・部品の乾燥

お手入れ後は、付着した水を乾いた布で拭き、  
日陰(屋内)で自然乾燥して下さい。

クリーニングフィルターは本体から取り外し  
十分に乾燥させて下さい。

### 2 保管について

お買い上げ時のポリ袋などに入れ、直射日光  
の当たらない、湿気の少ない場所に保管して  
下さい。

- よく乾燥させないまま収納しないで下さい。  
カビの発生・悪臭の原因になります。
- 旅行や、数日間使用しない場合は、水タンク  
水槽・蒸発皿・予備水受けスペースなどに  
残った水をすべて捨てておいて下さい。

## 消耗品について

クリーニングフィルターは消耗部品です。  
ご使用とともに傷んで、性能が落ちますので  
汚れや破損した場合は交換して下さい。  
廃棄の際は、不燃ゴミとして捨てて下さい。





クリーニング  
フィルター

新しいクリーニングフィルターを  
お求めの際は、弊社サービス部まで  
お問い合わせください。

# 故障かな？と思ったら

使用方法を間違えたり誤ると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。  
お買い上げの販売店または、当社にご相談になる前に、下記の表でチェックしてください。

症 状	原 因	処 置 ・ 確 認
電源がつかない 蒸気が出ない	電源プラグが正しく差し込まれていない	電源プラグを正しく差し込む。
	本体と水タンク・部品がしっかりとセットされていない。	しっかりセットしているか確かめる。正しく取り付け。  5～7ページを参照
	タンクの水がない 各部品は正しくセットされていますか？確認してください	タンクの水がないと自動で運転停止します。給水してください。 確認してください。
蒸気が少ない	湿度が高い・温度が高い	ご使用環境によっては蒸気ははっきり見えないこともあります。
水がなくなった後、電源が入らない	空だき防止機能がはたらき、自動停止したため。	運転停止後、5分以上経過してから給水してリセットボタンを押し、再度運転してください。  9ページを参照

症 状	原 因	処 置 ・ 確 認
蒸発皿・水槽に異物が溜まる	水道水に含まれる塩素・石灰などの鉱物成分が蒸発した水より出てきたものです。 (お使いになる「水」の含有物によって出るものです)	<b>加湿性能に影響しますので、お手入れを行ってください。</b> クリーニングフィルターをセットして下さい。

## 製品仕様

本体サイズ	約(幅)180×(奥行)180×(高さ)215mm	電源コード	約1.5m
本体重量	約0.8kg	アロマポット容量	約2.5mL
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz	温度ヒューズ	142℃ (10A)
消費電力	120W	サーモスタット	120℃・手動復帰型
加湿量	約150mL/h	材 質	耐熱ABS樹脂、耐熱PP樹脂、AS樹脂
水タンク容量	約1.25L	適用床面積	(木造)2～3畳、(プレハブ洋室)4～6畳* *使用状況、環境により異なります。
連続加湿時間	約8時間		

※仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

# アフターサービス

## 1.保証書

この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

## 2.修理を依頼される時

\*保証期間中は

商品に保証書を添えてお買上げ販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理致します。

\*保証期間が過ぎている時は

お買上げの販売店にご相談ください。

※保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

## 3.補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造切後5年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4.アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店が弊社にお問い合わせください。

## 修理・ご相談・お問い合わせ先

### ご連絡していただきたい内容

●品名      ●型番      ●お買上げ日      ●故障の状況      できるだけ具体的に

※携帯電話・PHSからもおかけすることができます。

製品のお問い合わせ  
アフターサービス等



0120-350352

営業時間：(平日)月曜日～金曜日 (午前10:00～11:30  
※祝祭日を除く 午後1:00～5:00)

## 廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。  
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないで下さい。